

会 議 録

会議の名称	令和6年度上尾市公民館運営審議会委嘱・任命式 及び第1回上尾市公民館運営審議会	
開催日時	令和6年7月2日(火) 午後2時10分から午後4時05分	
開催場所	上尾市立上尾公民館 講座室401	
議長(委員長)氏名	近藤 博昭	
出席者(委員)氏名	三日月 桂子、洞派 英樹、横堀 鶴雄、戸松 令子 玉越 敬彦、舩生 養子、山内 和子、一ノ瀬 隆 近藤 博昭、関根 とし子、山尾 三枝子、北川 悦子(12人)	
欠席者(委員)氏名	須賀 聡	
事務局(庶務担当)	西倉教育長、加藤教育総務部長、池田教育総務部次長 白石生涯学習課長 小川上尾公民館長、関上平公民館長、石井平方公民館長、 清水原市公民館長、岡野大石公民館長、堀口大谷公民館長、 椎名生涯学習課副主幹、丸山生涯学習課主任	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 令和5年度公民館事業の報告について (2) 令和6年度公民館事業計画について (3) 令和6年度土曜日の教育支援事業について (4) その他	内容説明及び質疑応答
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 0人
会議資料	別紙のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和6年 7月 29日</p> <p style="text-align: center;">議長(委員長)の署名 <u>近藤 博昭</u></p>		

議事の経過

上尾市公民館運営審議会委員の委嘱・任命式	
白石課長	1 開式 皆様、本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。 私は本日の司会進行を進めさせていただきます上尾市教育委員会生涯学習課長の白石でございます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。 それでは、ただいまから令和6年度上尾市公民館運営審議会委員委嘱・任命式を行います。 これより、上尾市教育委員会西倉教育長から委嘱書任命書を交付いたします。お一人ずつお名前をお呼びいたしますので、お手数ですが、その場でご起立ください。
西倉教育長	2 委嘱書・任命書の交付 ＜西倉教育長から新委員12名に委嘱書及び任命書を交付＞
西倉教育長	3 教育長挨拶 ＜西倉教育長挨拶＞
白石課長	4 閉会 ありがとうございました。以上をもちまして、上尾市公民館運営審議会委員委嘱・任命式を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。 <p style="text-align: right;">〔午後2時10分終了〕</p>
第1回上尾市公民館運営審議会	
白石課長	1 開会 それでは、引き続き令和6年度第1回上尾市公民館運営審議会を開会いたします。議事に先立ちまして、本日初めて審議会に出席される方もいらっしゃると思いますので、自己紹介をお願いしたいと存じます。
白石課長	2 委員及び職員紹介 ＜委員自己紹介＞ ＜各出席職員自己紹介＞
白石課長	3 委員長、副委員長の選出 続きまして、委員長及び副委員長の選出に移らせていただきます。上尾市公民館運営審議会規則第3条第1項の規定により、「委員長、副委員長は委員の互選により定める」とありますが、立候補、ご推薦等のご意見はありますでしょうか。
北川委員	事務局のご意見はいかがでしょうか。

白石課長	<p>事務局の意見としましては、これまで経験が豊富であり、前任も務めておりました近藤委員を委員長に、関根委員を副委員長にお願いしたいと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。</p> <p><委員一同拍手></p>
白石課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員長に近藤委員を、副委員長に関根委員ということで、ご承認いただきましたので、どうぞよろしくお願いいいたします。委員長、副委員長が決定いたしましたので、お二方は席のご移動をお願いします。</p> <p>また、就任にあたりまして委員長、副委員長から一言ずつご挨拶をいただければと存じます。</p>
近藤委員長	<p><委員長就任挨拶></p>
関根副委員長	<p><副委員長挨拶></p>
白石課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、教育長につきましては、公務の都合により、ここで退席させていただきます。</p> <p><教育長退席></p>
白石課長	<p>4 議事</p> <p>それでは、本日の議事に入ります。上尾市公民館運営審議会規則第3条第2項の規定に基づき、ここからの議事進行を近藤委員長にお願いいたします。</p>
近藤委員長	<p>承知いたしました。暫時、議長の任に就かせていただきます。</p> <p>上尾市公民館運営審議会規則第4条の規定により、会議開催は委員の半数以上の出席が必要となります。本日の出席状況について事務局からご報告をお願いします。</p>
白石課長	<p>本日は12名の委員にご出席をいただいております。</p>
近藤委員長	<p>承知いたしました。委員総数13名のうち出席者12名ということですので、この会議は成立することをご報告いたします。</p> <p>併せて事務局にお尋ねします。本日は、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。</p>
白石課長	<p>本日は、傍聴をご希望される方はおりません。</p>
近藤委員長	<p>(1) 令和5年度公民館事業の報告について</p> <p>それでは、本日の議事でございますが、第1号議案「令和5年度公民館事業報告について」</p>

	<p>第2号議案「令和6年度公民館事業計画について」 第3号議案「令和6年度土曜日の教育支援事業について」 第4号議案「その他」</p> <p>を予定しておりますが、これ以外で議事として取り上げたい事項がございましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。 特にないようでしたら、第1号議案から第4号議案を本日の審議議事としたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
近藤委員長	<p><異議なし></p> <p>それでは、第1号議案「令和5年度公民館事業について」事務局からご説明をお願いします。</p>
白石課長	<p>公民館事業の報告につきましては、各公民館事業に対して、委員の皆様からご意見を伺うものでございます。</p> <p>これは、上尾市公民館管理規則第17条第2項に基づき、公民館事業の水準向上を図り、公民館の目的を達成するため、公民館運営審議会の協力を得て、公民館事業の点検・評価を行うものでございます。</p> <p>委員の皆様には、事前に会議資料と併せて「令和5年度公民館事業委員意見書①」（以下、意見書①）をお送りしております。皆様におかれましては、事前に会議資料をご一読いただき、公民館事業についての意見をご記入されているかと思っておりますので、ご発言の際の参考にしていただければと思います。</p> <p>また、本日の審議会でのご意見等につきましては、本日に配布しております「令和5年度公民館事業委員意見書②」（以下、意見書②）をご記入いただき、お帰りの際に「意見書①」と併せて事務局にご提出をお願いいたします。</p> <p>それでは、具体的な令和5年度の事業報告につきまして、担当から説明を行います。</p>
椎名副主幹	<p><資料1についての説明></p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまのご説明について、ご質疑等をお受けしたいと思っております。皆様には、事前に意見書をご記入していただいていることと存じますので、そちらに基づいてのご質問でも構いません、いかがでしょうか。</p>
山尾委員	<p>今回、事前に郵送いただいた「意見書①」については、各公民館の事業記録のみ同封されており、昨年度の事業状況等のデータが記載された資料を本日初めて目を通したため、評価するのに事業記録を何度も見直し、多くの時間を要しました。できれば、「意見書①」と資料を同時に送っていただきたかったです。資料が同封されていれば評価も書き易く、短時間で済みました。</p>
近藤委員長	<p>確かに、意見書をまとめるのに多くの時間を要しました。 今回、事前に配布された資料は、「事業記録集」と「公民館事業評価の</p>

	<p>視点」でした。私のように長く委員を務めていれば、基本方針に則って『仕訳がこうなっていて、該当する事業がこう展開している』ということが理解できました。事業記録集も良く整理されておりました。</p> <p>しかし、評価の視点を基準にして考えたときに、『7つある評価の着眼点のどこを捉えて、各事業が展開しているのか』ということを理解しないと、評価するうえでは、文章化して提出する必要があるため、非常に苦労したかと推察いたします。</p> <p>ただいまの山尾委員からのご意見は『事業評価を行ううえで、事務局から、もう少し配慮して欲しい』というものでした。</p> <p>その他に、事業全体についてでも結構ですし、個別事業についてのご意見やご質問でも構いませんが、いかがでしょうか。</p>
船生委員	<p>私は事業記録集を拝見して、それぞれの講座をイメージして、私見を入れながら評価をさせていただきました。講座の企画にあたっては、いろいろと課題はあるかと思いますが、市民の興味を引くような企画や、先程の報告でも「人権」に関する講座を各公民館で企画しているようでしたが、今後も続けていく必要がありますし、昨年とは違った方向性の講座がいくつも見受けられました。</p> <p>また、事業記録集の表紙が各公民館で趣向を凝らしていて、見ていて和まされました。そして、今の時代も公民館は地域の皆様が「集う場」として必要であると感じます。以上です。</p>
近藤委員長	<p>非常に高い評価をいただきました。他にございますか。</p>
三日月委員	<p>私は、昨年度まで芝川小学校の校長でした。公民館の分類では、上平公民館の区域になります。現在上尾市の教育では外国語教育に力を入れており、特に上平学区（上平、上平北、芝川）では積極的に取り組んでおります。</p> <p>昨年度、上平公民館で英語を取り上げた子供向けの講座がありましたが、事業記録集を拝見すると、学校と公民館でうまく連携が取れていると感じました。他の公民館でも子供たちが好きそうな講座を多く展開しているようなので、今後も学校と連携が取れると、さらに充実すると思いました。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。学校教育との連携が取れていることも非常に良いと思います。他にご意見はございますか。</p>
横堀委員	<p>全般的にバラエティーに富んでいて良いと思います。</p> <p>欲を言うと、健康に関する講座、例えば上尾公民館で行われた「フレイル予防講座」は継続して欲しいです。</p> <p>また原市公民館の「原市シニア学級」については対象年齢を外して若年層にも参加できるように土日の講座にさせていただきたいです。若者もいずれは老いますので、知識を得るためにも、企画していただくとよろしいかと思えます。</p> <p>また、大谷公民館で行った「親子手ごねパン教室」等も親子が参加対象の講座ですが、人間として生きていくための教育の一種として、</p>

<p>近藤委員長</p>	<p>現在の子供にとっても、将来必ず役に立つ日がくると感じました。 あとひとつは、今年の元旦に能登半島地震が発生しましたが、災害に関する講座もあればよいと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。ご意見の最後に出た、地震についても、大石公民館で「地球は生きている～地震と火山～」の講座開催がありました。災害発生後の記録や体験談だけでなく、地球のメカニズムを知るということは、直下型地震を予測・検知するという面で近年話題になっておりますので、非常にタイムリーな講座であると思います。 その他にございませんか。</p>
<p>玉越委員</p>	<p>少し全般的な感想、質問を述べさせていただきます。 まず各公民館では工夫をされた活動をしているということが分かりました。その中で、各公民館で力を入れている講座があるのでしょうか。例えば、大石公民館については、少しシニア向けの講座が多かったと感じました。逆に子供向けの講座が充実しているのは原市公民館であったという特徴を感じました。企画については、各公民館の職員が考えていると思いますが、各公民館でテーマや企画内容を決めて時に講師をどのように選定しているのかもお聞きしたいです。</p>
<p>近藤委員長</p>	<p>講師の選定に関するご質問ですが、各公民館長いかがでしょうか。</p>
<p>関館長</p>	<p>公民館長を代表して回答いたします。 各館長のお考えがあるとは思いますが、一般的な回答をいたします。やはり講師を選定することが一番大変だと思います。まずは『何を企画しようか』を考えて、そこから講師を具体的に選定していく流れになります。ただ、『この講座を企画するにあたって、この方を講師に招こう』と想着いても、実際に講師と話をすると、当初思っていたイメージとは違うことがあります。 具体的な話ですと、去年聖学院大学の先生に講座をお願いしました。当初は「古注から読む源氏物語」のようなタイトルを考えておりましたが、打ち合わせを進める中で、先生は源氏物語における、中国文学との関わりについて、大変見識が深いということが分かったため、内容やタイトルを変更することになりました。このようにタイトルを含めて講師を選定することが講座を企画するうえで一番大切になっていきます。 もう一つは、他の公民館あるいは他市町村で行っている講座を注視するというのもやっております。実際にそういうところから講師との繋がりができて、講座を組み立てることもあります。 玉越委員のご指摘は、ある意味では公民館講座を組み立てる上で一番の課題であり、考えなければならないことでもあると、私自身は感じております。</p>
<p>近藤委員長</p>	<p>ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。</p>
<p>北川委員</p>	<p>本当に各公民館とも多岐にわたって活動していると感じました。私</p>

	<p>は「意見書①」の記入について、ある程度時間をかけたつもりですが、事業報告に関する資料の添付がなかったことで、『各公民館の自己評価が分かりませんでした』という内容からに評価を書き始めました。</p> <p>本日は校長先生が2人出席されておりますが、評価をすることが非常に難しいと感じました。公民館の自己評価を拝見すると「A」が多いようですが、職員の皆様が非常に頑張っていることは承知しております。</p> <p>私が評価に関して疑問に感じることは、例えば12ページの「支える」という項目です。公共施設である公民館の設備にあたりますので『定期点検も抜かりなくやっている』ということで100点の自己評価なのでしょうが、建物・施設の老朽化はやむを得ないことですが、それらも含めて評価するべきではないかと思えます。このままですと、評価で「A」が続き、市役所の上席の方が見たら『現状維持で良い』という評価で終わってしまう気がします。</p> <p>やはり、普段から実際に公民館を利用しているサークル会員さんの意見を吸い上げながら、率直に評価していただきたいです。公民館の職員の方も限られた人員で大変よくやっただけだと思いき、感謝の気持ちもありますが、もっと施設に対する要望等も市役所に報告していただきたいです。</p>
近藤委員長	<p>貴重な意見ですね。『建物や施設、設備の現状に対して、公民館側がもっと要望を出していいのではないか』といったご意見でした。他はございますか。</p>
洞派委員	<p>先程の話に戻りますが、私は昨年度に大石公民館から講師の依頼を受けて、親子で参加する企画の講義をさせていただきました。</p> <p>当日は、多くの親子にご参加いただき、非常に楽しい企画になりました。今後もそのような、講座をたくさん企画していただきたいです。</p> <p>例えば、大石公民館で親子での講義に参加した子供が大人になって、親になって講座に参加する。もしくは、市内の他公民館を利用することで、さらに繋がりが広がっていき非常に良いと、講師の目から見て感じました。講義だけではなく、様々な企画や活動をするによって上尾市がより活性化すると思えます。</p> <p>ただ、先程もご意見がありましたが、講師を選定することや企画を継続することは大変だと思います。そのためには、地域の協力も必要になってくると、今回講師をやらせていただいて思った感想です。</p>
近藤委員長	<p>ご意見ありがとうございました。</p>
一ノ瀬委員	<p>新任ですので、公民館運営が全く分っていないなかで、皆様の意見や質問を聞き、『講座の企画は、各公民館の職員がそれぞれ考えており非常に苦労しているな』ということを知りました。</p> <p>私は子供が幼い頃によく公民館に通っており、親子での企画にも参加させていただきました。子供が中学生になり学校のバトミントン部に入部して、『部活動以外でも練習がしたい』ということで、バトミントンサークルを立ち上げて、今後も活動していくことでまた繋がりが</p>

	<p>できました。</p> <p>話が的外れになれば申し訳ないのですが、企画はそれぞれの公民館で考えて、講師も選定すると聞きましたが、一方で「公民館事業評価の視点」の着眼点には、「地域資源の活用」や「地域の課題解決に繋がる視点」等の項目があります。市内には複数の地区があり、課題や資源も違うと思いますが、例えば「公民館で企画のパッケージをひとつ作り水平展開していく」ことで、企画側と講師側がお互い手配や準備の負担が減り、費用も抑えられるのではないかと感じました。</p> <p>また、体験型では難しいと思いますが、学習型の講座でオンラインを活用して、会場まで足を運べない方も参加を可能にすることや講座の要素等も「見える化」することで、参加者も増えるのかと思います。</p> <p>私も会社で活用することもあります、「会議開催」といった文面のみの告知に比べて、写真や動画を加えることで参加、出席の増加に繋がることもあります。公民館活動の募集要項だけ見ても楽しいのですが、そのようなことをプラスアルファでできればいいと思いました。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。新しいアプローチの提案が出ました。前回の審議会でも同様の意見が出たと記憶しています。どのように PR するか、「今できること、素材や道具も含めて、活動の様子を撮影して各所で流す」という方法もあるという話が前回も出ました。</p> <p>ご提案ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p>
関根副委員長	<p>どの公民館もいろいろな企画があり、評価がとても良い公民館が多いのですが、各公民館の館長から市役所に対しての要望があるのではないのでしょうか。もしくは、今の公民館の状況を『良し』と考えているのか。といった私の素朴な疑問ですが、いかがでしょうか。</p>
関館長	<p>公民館は先ず安心・安全に使用できることが第一優先になります。そこについては、限度はありますがしっかりと予算をつけています。しかしながら、プラスアルファの話になりますと、例えば「講師謝礼がかつてに比べると抑えられている」と感じます。そこで「まなびすと」にご協力いただいたり、あるいは民間企業にご協力いただける講座があることで、講師謝礼については、対応できているというのが現状です。</p> <p>そういった意味では、公民館での講座も比較的安定しております。また、本来の公民館事業のひとつに「部屋や施設の貸し出し」もあります。講座の割合を多くすることで、貸し出しを希望する利用者さんが利用できなくなるため、そういう意味では、今はバランスが良いと感じております。</p> <p>いずれにしても、安心・安全のために修繕等が必要な個所をどこまで進めることができるかという問題が今後の課題になかと思えます。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。館長の立場からすると、安全第一で考えておられると思います。そして、企画を考えたいうえで、それに対する結果も求められています。なおかつ3、4人の限られた職員数で講座を含めた全体的な運営をされているので非常に大変だと思います。</p>

船生委員	<p>事業記録集を拝見しましたが、上尾公民館で公民館講座に参加した皆さんが興味を持たれて、のちに活動サークルとして立ち上がったという記述がありました。これはとても喜ばしいことだと思いました。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。そろそろ会議が始まって1時間が経過しますので、第1議案について意見をまとめたいと思います。</p> <p>私の感想を少し申しますと、各公民館でよく検討して、企画運営がなされております。</p> <p>先程、一ノ瀬委員からご意見をいただきましたが、『講座を企画して、公民館の運営もする。そこでもう少し余裕があれば、自主勉強活動ができるようなグループも育てる』ということで、各公民館が大変努力をされていると感じます。そういう意味で考えると、分類に沿った企画運営が良くできていると評価できます。</p> <p>もうひとつ、私たち委員が意見書で書く、公民館評価の視点（着眼点）に関しても、良くできていると感じており、『総合的に高い点数をつけても良いのではないか』というのが私の意見です。</p> <p>先程出た講座についてのご意見ですが、『サークルができなくて残念だった』という報告もありました。私はいつも思うのですが、空中分解しているサークルも多くあります。そこに至る理由はさまざまですが、『自分たちのサークルを自分たちの手で作り上げよう』という情熱がまだ市民には少ないと感じています。市民サービスとしての公民館、教育サービスは受けるのですが、自分たちがそれに代わって一つ役割を果たしながら、公民館活動を推進しようという意味ではまだ育っていないと感じています。</p> <p>令和5年度原市公民館の講座に関する報告で、親子で参加する講座が、定員不足で中止になったと聞きました。非常に残念ではありますが、これに懲りずに『2組でも3組でも集まったらやる』という意識でいいと思います。開催にあたり人が集まることで講座の評価も上がり、影響も大きくなるので、少ない人数であれ、とにかく開催したという実績を残した方が、経験したことが楽しければ、次回に波及していくと考えております。</p> <p>ぜひ、そのような機会があれば、思い切って決行していただければと思います。</p> <p>最後になりますが、先程高齢者向けの講座について『あえて高齢者と銘打って講座を開く必要があるか疑問を感じる』とのご意見がありました。私も同感でして、これは数年前に、「高齢者学級」のように特定の世代を限定するようタイトルで講座を開く必要はなく、面白い講座であれば世代に関係なく参加していただければ良いと思います。</p> <p>他に付け加えることはありますか。</p>
山尾委員	<p>現在は昔と違い、地域での繋がりが減ったように感じます。強い繋がりを求めることを敬遠する方も多いようですが、以前は講座を開いたら、その人たちがグループを結成することが主流でしたが、今は特にグループを結成しなくても気の合う仲間、顔を合わせたら会話をするような「緩い繋がり」でも構わないと思います。その中で公民館やサークル・講座がそういった顔を合わせて繋がる場所や役目ではな</p>

<p>近藤委員長</p>	<p>いかと思っています。以上です。</p> <p>ありがとうございます。サークルを育てていくこともひとつのテーマであると思います。サークルも今後に向かって、「在り方」や「必要性」について検討していく必要があるかもしれません。</p> <p>もう一つは、「公民館まつり」や「展示発表会」等の機会も含めて、現在は職員の方が当日の設営を手伝っていただいたことで、以前に比べて楽になったように感じます。いろいろな在り方も再考してみると良いと思います。新しいテーマも出てきましたので、それらも機会をみて皆さんで今後検討していければと思います。</p> <p>他にご意見なければ、第1号議案につきましては、皆様方のご了解を得たいと思います。</p> <p>ご説明につきまして、ご了解いただけましたでしょうか。</p> <p><異議なし></p>
<p>近藤委員長</p>	<p>ありがとうございます。続いて、第2号議案に移りたいと思います。</p>
<p>近藤委員長</p>	<p>(2) 令和6年度公民館事業計画について</p> <p>それでは、第2号議案令和6年度公民館事業計画について、ご説明をお願いします。</p>
<p>白石課長</p>	<p>令和6年度の事業計画につきまして担当から説明を行います。</p>
<p>椎名副主幹</p>	<p><資料2についての説明></p>
<p>白石課長</p>	<p>続いて、各公民館から説明を行います。</p>
<p>上尾公民館長 上平公民館長 平方公民館長 原市公民館長 大石公民館長 大谷公民館長</p>	<p><資料2 上尾公民館事業計画について説明> <資料2 上平公民館事業計画について説明> <資料2 平方公民館事業計画について説明> <資料2 原市公民館事業計画について説明> <資料2 大石公民館事業計画について説明> <資料2 大谷公民館事業計画について説明></p>
<p>近藤委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただいまご説明いただきました事業について、ご意見等ございますか。</p>
<p>玉越委員</p>	<p>一般的な質問になり申し訳ないのですが、民間企業に依頼した講座の記録がありましたが、講師への謝礼はかからなかったのでしょうか。『謝礼の代わりに企業からの宣伝を許可している』という形でしょうか。矢島園や明治安田生命など具体的な企業名が出ていますがいかがでしょうか。</p>
<p>近藤委員長</p>	<p>それでは、こちらについて事務局の回答をお願いします。</p>

石井館長	<p>平方公民館では、矢島園に講座を依頼しましたが、専務取締役がお茶の見識が深く、講師を引き受けていただきました。他には、矢島園の従業員さんが工場を案内してくださいました。謝礼については低額ですがお支払いをさせていただいており、あとは工場のクリーンルームに入る際に着用する防塵服やマスクの代金として、参加者に300円ほどご負担をしていただきました。</p>
近藤委員長	<p>他の公民館はいかがでしょう</p>
清水館長	<p>原市公民館です。今年度は、メイク関係の講座で花王。シニア学級で高齢者の栄養という項目にはキューピーに講座をお願いしました。講師への謝礼は不要でしたが、商品のチラシ配布や企業側から参加者へのアンケート回答のお礼という形で試供品等を配っていただくということができました。</p> <p>また、先程の報告でもありましたが、旅費分だけ受け取るという企業もございました。</p>
近藤委員長	<p>他にございますか。</p>
一ノ瀬委員	<p>素朴な疑問になりますが、私は原市公民館が最寄りの公民館にあたりますが、講座への参加は原市公民館の企画でないと参加できないのでしょうか。</p>
近藤委員長	<p>講座については、お住まい関係なく、どの公民館の企画にご参加いただけます。その他いかがでしょうか。</p>
北川委員	<p>先程の報告でもありましたが、6月に開催された「公民館まつり」に私も伺いましたが、とても素晴らしい内容でした。他の公民館でも、11月、3月に原市公民館で「発表会、展示会」などが予定されています。しかしながら、今年は昨年と比べて、招待客の出席者数が少なかったといった話も耳にしました。</p> <p>こういった、大きな発表会や日ごろの成果を外部に見ていただくことは、企画から準備にかけても非常に大変な作業だと思います。私自身も見学した時間は長くはありませんので、審議会委員の皆様も市職員の方も『すべての催しを見学してください』とは言えません。特に学校関係者や市職員の方においては、昨今の「働き方改革」で休日の出勤が難しくなっていると思うので、今後もこのような状況が続くようであれば、少し先が思いやられると感じました。限られた時間でも良いので足を向けて、公民館活動の成果をご覧になって欲しいという意見、提案です。</p>
近藤委員長	<p>審議会としては耳の痛いご意見です。</p>
北川委員	<p>もう1点、上尾公民館長に質問です。資料14ページの「アフリカの風を感じるカリンバ～心に響く癒しの音～」については、楽器のカリンバは講師がお持ちになるのですか。</p>

小川館長	その通りです。講師の先生が持ってきていただきます。
近藤委員長	ありがとうございました。
船生委員	各館で企業に対して、『今年度も講座を行いましたので、次年度も継続していただきたい』といった形で、申し送りをして継続事業を行うような企画はあるのでしょうか。
近藤委員長	申し送りによる継続事業の有無についてということですね。公民館長、いかがでしょうか。
石井館長	私は、今年度の4月に大谷公民館から平方公民館に異動しましたが、申し送りとしてあったのは、「落語」の講座を地域の方が楽しみにしているとのことで、それは毎年継続しています。あとは、委員の皆様もご存知かと思いますが、毎回講座を受けると参加者にアンケートをお願いしているのですが、アンケートにおいてご好評いただいた講座については、職員が次年度の講座を選定するうえでの材料となります。 他にも『こういった講座を開催して欲しい』といった声が多い場合も講師を探して企画することもございます。
船生委員	ありがとうございました。
近藤委員長	その他、いかがでしょうか。 ご意見がないようでしたら、第2号議案につきまして、皆様方のご理解を得たと解釈してよろしいでしょうか。
近藤委員長	<異議なし>
近藤委員長	ありがとうございます。続いて、第3号議案に移りたいと思います。
近藤委員長	(3) 令和6年度土曜の教育支援事業について それでは、令和6年度土曜日の教育支援事業について、ご説明をお願いします。
白石課長	令和6年度の土曜日の教育支援事業につきましては、担当から説明をさせていただきます。
椎名副主幹	<資料3についての説明>
近藤委員長	続いて、質疑をお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。こちらの事業は、私たち公民館運営審議会が評価の受け皿になっていたかと思いますが、いかがでしょうか。
椎名副主幹	こちらは放課後子供教室の事業になります。現在では事業がまとまっていないこともありますので、評価については次回の審議会に事業評価をお願いできればと思います。

近藤委員長	<p>承知いたしました。ご質問等ございますか。</p> <p>こちらは、各公民館でピックアップした事業になりますので、『なるべく充実した事業にしていきたい』という要望になり、事業の細かい質問は割愛させていただきます。</p> <p>さて、第3号議案についても、皆様のご理解を得たと解釈いたしますが、よろしいでしょうか。</p> <p><異議なし></p>
近藤委員長	<p>(4) その他</p> <p>続きまして、その他に事務局からございましたらお受けしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。</p>
白石課長	<p>事務局からは特にございません。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは本日本日予定された、第1号議案から第3号議案については委員の皆様からご了解を得られましたので、ここで私は議長の席を辞させていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。</p>
白石課長	<p>近藤議長ありがとうございました。</p> <p>事務局からの連絡事項等はいかがでしょうか。</p>
丸山主任	<p>意見書の提出について、お詫びとご報告をさせていただきます。</p> <p>まずお詫びでございますが、既に議事で何名かの委員さんからご指摘をいただいているところですが、今回に審議会に先立ち皆様に資料を郵送させていただきましたが、私の認識が誤っており、本来であれば同封すべきである資料冊子を当日配布としてしまいました。意見書をご記入していただく際にご不便と多くの時間を取らせてしまったこととお詫びいたします。大変申し訳ございませんでした。</p> <p>続いて、その意見書の提出についてです。事前にご意見をご記入していただくために郵送していた「意見書①」と本日の審議会に出席したうえでご意見を記入する「意見書②」の2枚の意見書は、審議会終了後に事務局へご提出ください。</p> <p>なお、特に「意見書②」においては、本日中にご記入が終わらない方も多いと思いますので、7月10日（水曜日）までに生涯学習課までご提出をお願いします。</p>
椎名副主幹	<p>もう1点事務局からご連絡いたします。</p> <p>公民館の予約について、「上尾市公共施設予約システム」をご活用いただいておりますが、この度6月下旬にシステムがリニューアルいたしました。今までよりも、見やすくなっておりますが、7月1日にリニューアル後初めての抽選が行われた際にシステム障害が発生しまして利用者様にご迷惑をおかけしました。8月の抽選では同様のことが起こらぬように、システム業者にも報告いたしましたので、予約</p>

横堀委員	<p>IDをお持ちの方は、ぜひご活用いただきまして、不具合等がございましたらお手数ですが、ご連絡をお願いいたします。</p> <p>先日、活用した際にエラーが発生していましたが、現在は大丈夫でしょうか。</p>
椎名副主幹	<p>既に障害は解消されております。私もいくつかの ID を使って試しましたが、エラーがなく予約ができました。</p>
横堀委員	<p>承知いたしました。</p>
近藤委員長	<p>意見書について1点よろしいでしょうか。 「意見書②」の最上段に「令和5年度公民館事業の報告について」と記されておりますが、「意見書①」に同様に意見を記す箇所が設けられており、問いが重複しております。手書きで記入するには負担が多くなりますので「意見書②」での重複部の未回答はお許しいただきたいです。これ以上に濃い内容のご意見が本日の審議会に出ております。これは、今後においても同様でございます。事務局、よろしいでしょうか。</p>
白石課長	<p>ただいま近藤委員長がおっしゃったように、事前にお送りした「意見書①」に多くのご意見をいただきましたため、「意見書②」の令和5年の事業についてのご意見のご記入は結構でございます。事前資料のお送りについても、不足しておりましたため、今後は事前によく確認して準備を進めてまいります。</p>
白石課長	<p>5 閉会 それでは閉会の挨拶を関副委員長をお願いいたします。</p>
関根副委員長	<p><閉会の挨拶> [午後4時05分終了]</p> <p>.</p>